

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL.100
2024.8

TOPICS

1

オープンキャンパス2024を開催！



本学は8月3、4、7、8、9日の5日間、来学方式のオープンキャンパスを開催しました。県内外から7,300人を超える高校生が訪れ、岡大ライフを体験しました。

来学方式のオープンキャンパスは10学部とグローバル・ディスカバリー・プログラムで開催。各学部の紹介や入試制度の説明のほか、研究室の見学、本学の在学生や教員との懇談会など、多彩な催しが開かれました。

法学部の説明会では、冒頭にサプライズで那須保友学長が訪れ、高校生を激励しました。また、法学部の概要説明、模擬講義、在学生による法学部の紹介ののち、閉会後の懇談会では、高校生らは熱心にメモを取るなど、入試制度や大学の講義内容、将来の進路などについて積極的に質問をしていました。説明会場の前では、高校生らが、那須学長のトレードマークである蝶ネクタイを模したリーフレット「ガクチョウネクタイ」を手取る姿が見られるなど、和やかな雰囲気でした。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13377.html



TOPICS

2

令和6年度献血運動推進協力団体等厚生労働大臣感謝状を受領

8月5日、岡山国際交流センターにおいて令和6年度献血感謝のつどい(伝達・贈呈式)が開催されました。本学からは、三村由香里理事(企画・評価・総務担当)が出席し、上坊勝則岡山県副知事から献血運動推進協力団体等へ贈られる厚生労働大臣感謝状の伝達を受けました。

厚生労働大臣感謝状は、10年以上にわたり献血に協力し、顕著な功績のあった団体に贈られるものです。本学では、コロナ禍以前からの長年にわたり、主に、津島キャンパス附属図書館本館前、理学部前、工学部前、保健管理センター前などの敷地内に献血車両を受け入れる形で、献血活動に協力してきました。今回の表彰は、こうした本学の活動が評価されたものです。

本学は過去に、鹿田キャンパスでのSDGsアンバサダーCopain(コパン)による献血誘致活動などが評価され、岡山大学病院として、厚生労働大臣表彰を受けており、これが2度目の表彰となります。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13373.html



Pick up!

ダンス部が「第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル」で特別賞を受賞！



本学ダンス部は8月7～10日、神戸市で開催された「第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル」で、「特別賞」を受賞しました。

上演した『ノクテルカの夜～小泉八雲「夜行虫」より～』は、小泉八雲の「夜行虫」をテーマに創り上げた作品です。夜行虫は、八雲の世界観を象徴するモチーフとして登場します。＜静かな夜の海に一面に光漂う夜行虫。幾億千万の恒星の明かりが青玉色や翠玉色、時には深紅色と、様々な色で脈々と微光を放つ＞。八雲はこの光景を、現実と非現実が溶け合う壮大な精神世界と捉え、自らも神秘的の海に漂う蛍光点と見なしました。ダンス作品では、舞台一面を覆う白色布と、造形を照らす照明を効果的に使い、八雲の幻想的なイメージを表現しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13402.html



TOPICS

3

令和6年度「家族の日」開催

本学は7月31日、本学教職員の家族を招き、岡山大学を知ってもらう「家族の日」を開催しました。本イベントは、次世代育成の一環として、子どもたちに本学の知的資源に触れてもらうこと、ワーク・ライフ・バランスを尊重する職場風土を醸成することなどを目的として、毎夏に開催。当日は、15家族、総勢39人が参加しました。

那須保友学長および三村由香里理事と子どもたちで名刺交換や記念撮影を行ったのち、アリの観察実験教室では、観察するアリの採集を自分たちで行いました。めったに触れる機会のない顕微鏡を使った観察に、子どもたちは目をきらきらさせ、普段はあまり気に留めることもない小さなアリも、顕微鏡で観察するとさまざまな種に分類できることを学び、知的好奇心を刺激された参加者は親子揃って驚きと感動の声を上げていました。

その後は家族ごとに昼食を楽しみ、お父さんお母さんの職場を訪問するなど、家族のつながりを深めました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13417.html



TOPICS

4

中村有里技術専門職員が「TCカレッジ長賞」を受賞



総合技術部の教育支援技術課の中村有里技術専門職員が7月12日、東京工業大学で開催（ハイブリッド開催）された「TCカレッジ技術・研究支援発表会」において、「TCカレッジ長賞」を受賞しました。

TCカレッジは、令和3年度から東京工業大学を事務局として始まった、技術職員を対象とした高度人材育成のためのプログラムで、高い技術力・研究企画力を持つ技術職員をテクニカルコンダクター（TC）として認定する制度です。

今回の発表会は、令和6年度入学者13人がこれまでに学び、習得した技術をまとめて発表することで業務の整理、発表のスキルを学ぶことを目的としており、中村技術専門職員は「マネジメントを活かした工学の魅力発信」と題して、これまでに携わった工学教育の魅力発信活動に関して発表。優れた発表として、TCカレッジ長賞を受賞しました。受賞した中村技術専門職員は、「TCカレッジでマネジメントを学び、未来ある技術職員の活躍の場を広げたい」と抱負を述べました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13353.html

PRESS
RELEASE

新型コロナ後遺症の症状に見られる立ちくらみ症状の特徴を調査

大学院医歯薬学総合研究科の加藤篤之大学院生と、学術研究院医歯薬学域（医）総合内科学の大塚文男教授らのグループは、岡山大学病院のコロナ後遺症外来（コロナ・アフターケア外来）を受診した患者に見られる「起立性調節障害」の有無とその特徴について研究を行いました。

コロナ後遺症で受診した患者さんのうち、立ちくらみ症状を訴えた患者さんに対して起立試験を行ったところ、38%の患者で陽性となり、そのうち約半数（48.5%）が20歳未満の若年者でした。起立試験陽性の患者さんの症状には、吐き気や動悸が多く、起立したときの頻脈と、起立直後の拡張期血圧の上昇が特徴的でした。さらに、若年の患者さんでは、脳下垂体から分泌される血中の成長ホルモンが低いことも分かりました。この研究結果は、2024年7月24日、国際学術雑誌「Scientific Reports」に掲載されました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1269.html



加藤大学院生



大塚教授

